

CHOFU**工事説明書**

冷温水用ヘッダーボックス
 型名 HDB-804

- 機器を据付ける前に必ずこの工事説明書をよくお読みの上、正しく据付けてください。なお、この工事説明書は工事終了後、取扱説明書と共に必ずお客様にお渡しください。

特に注意していただきたいこと

- 本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

**警告**

この表示を無視して作業を誤った場合に、作業員またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して作業を誤った場合に、作業員またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



実行

「しなければならない」内容です。



アースを接続する



電源プラグを抜く

付属品の確認

- 梱包されている付属品に不足がないことを確認してください。

プラグ(3/4B) (2個)	ワッシャー (3個)	機器固定用ねじ(L20) (3本)	ホールプラグ (3個)	クイックファスナ (12個)
サーミスタ (6個)	アルミテープ (6枚)	熱源機通信接続リード線 (1本)	取扱説明書 (保証書付)	工事説明書 (本紙)

別売部品

この機器には別売のメインリモコンとリモコンコードが必要です。
 メインリモコンを取り付けないと操作できません。

- メインリモコン(いずれかを選択)

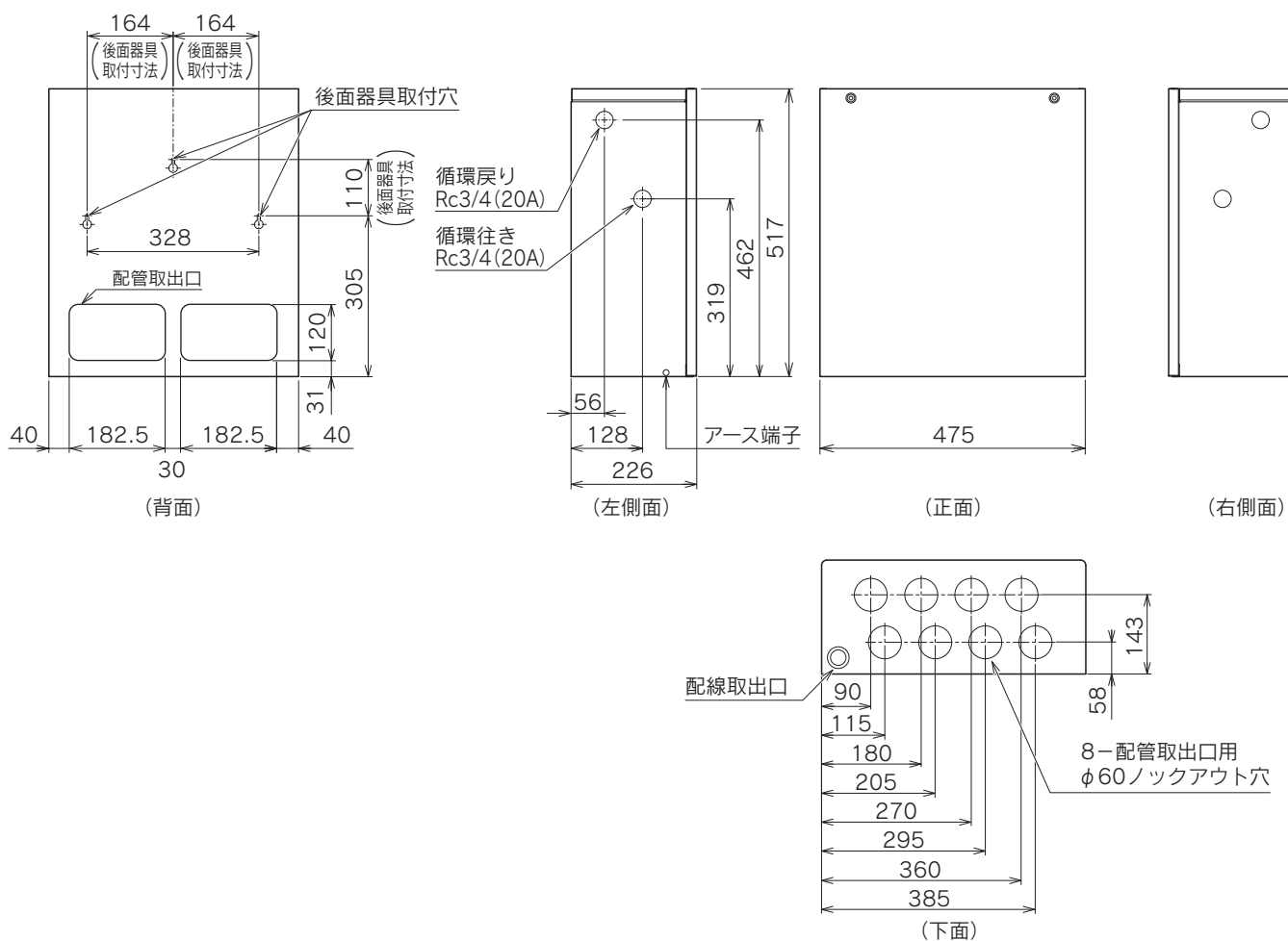
- ・CMR-3102VM
- ・CMR-2630
- ・CMR-2633

※メインリモコン1台で4エリア(回路)まで制御することができます。

5エリア(回路)以上を制御する場合は、メインリモコンが2台必要です。

- 増設リモコン(CMR-2630S)
- リモコンコード(RK-3P)
- HD熱動弁(10A)(VH-HDNB-10-404)
- HDバルブ(10A)(VH-HDB-10)
- 床暖サーミスタ(VH-HDTH)
- 冷水用保温材セット(VH-HZ-804)
- ジョイント(10A)・(7A)
- Lバンド(10A)・(7A)
- 架橋ポリエチレン管(10A)・(7A)
- 保温付10Aペア管

外形寸法図



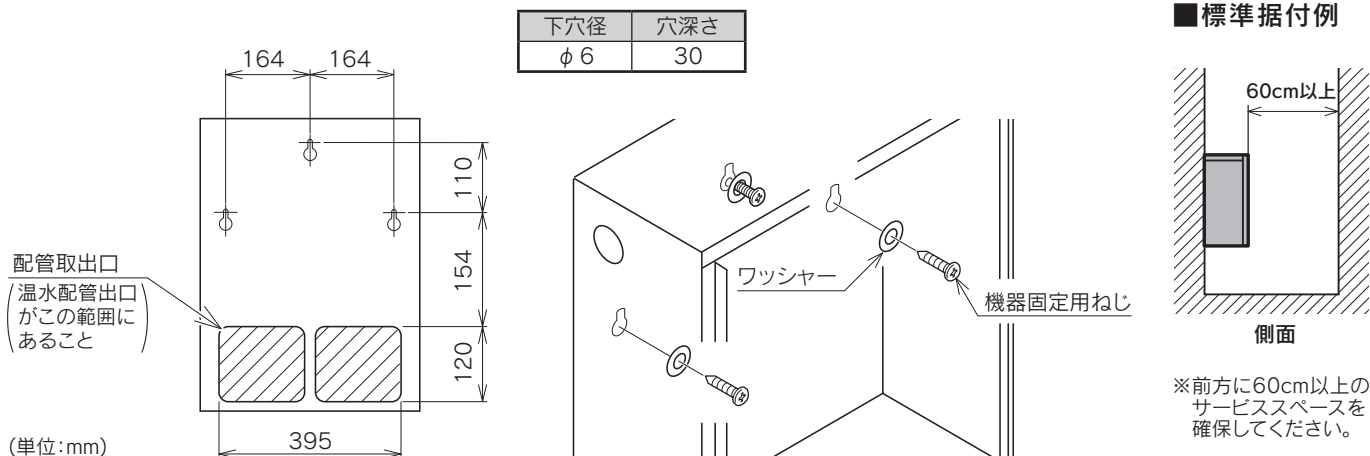
※循環戻り、循環行きは左右両側にあります。

(単位：mm)

位置決め (取り付ける位置を決めます)

1 取付位置の決定と取付け

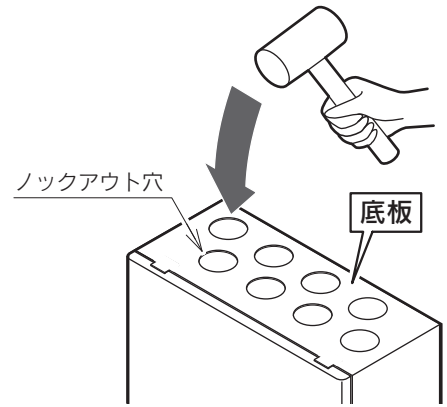
- 前パネルのねじ(2本)をはずして前パネルをはずします。
基板ケース取付ねじ(2本)をはずして基板をケースごとはずします。
- ヘッダーボックスの配管取出口が斜線の範囲になるような位置に、ヘッダーボックスを取り付けます。
- 本体を固定する壁3箇所にてφ6の下穴を開け、付属のオールプラグ(3個)を打ち込み、ワッシャー(3個)と機器固定用ねじ(3本)で固定します。



位置決め (取り付ける位置を決めます)

2 配管取出口を開ける (ノックアウト穴を使用して配管する場合)

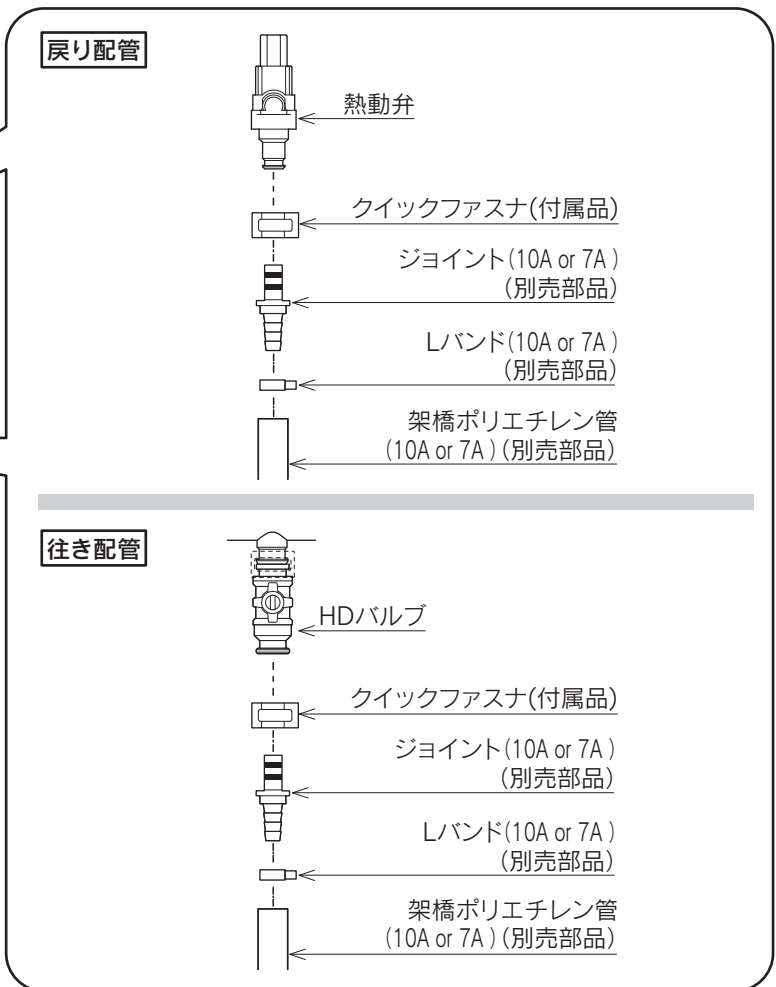
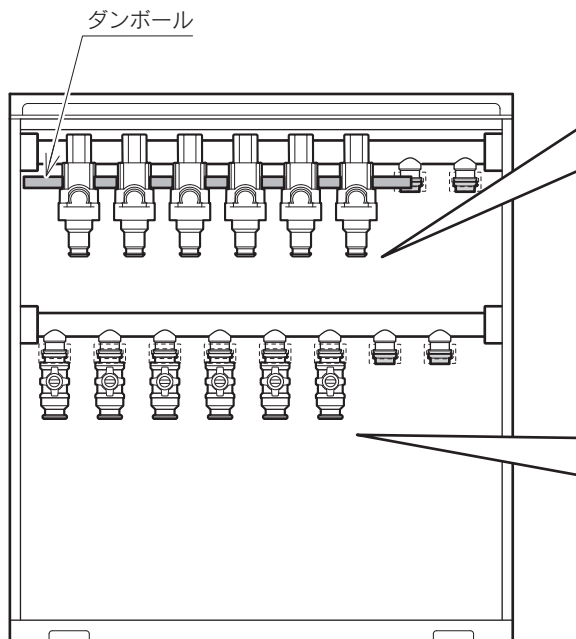
- ヘッダーボックスを壁面に取り付ける前に、底板にノックアウト穴を開けます。穴は配管に必要な部分のみ開けてください。



施工方法 (熱源機、放熱器と接続して設置します)

1 配管の接続

- 熱動弁を固定しているダンボールをはずしてください。
- 各配管の施工先が分かるように、マーキングしてください。
- 行き配管と戻り配管の区別がわかるようマーキングして、混在しないようにしておいてください。
- 冷水用ヘッダーボックスとして使用する場合は、別売の「冷水用保温材セット」を使用します。「冷水用保温材セット」に付属の工事説明書を参照して保温材を取り付けます。



※イラストは6エリア(回路)の場合です。

※7エリア(回路)、8エリア(回路)接続のときは、別売のHD熱動弁(10A)、HDバルブ(10A)、床暖サーミスタが必要です。

施工方法（熱源機、放熱器と接続して設置します）

2 サーミスタの取付け

※サーミスタによる検知方法は、「水温検知」・「室温検知」・「床温検知」の3通りあります。
 ヘッダーボックス制御基板上の機能設定スイッチで設定します。お買い求め時は「水温検知」になっています。
 （5ページ 表1参照）

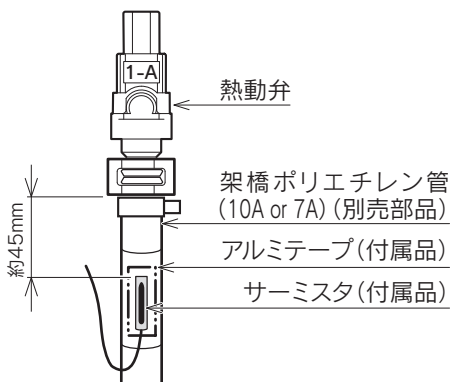
「水温検知」のとき

⚠ 注意

●サーミスタ取付箇所には保温材などを巻き付けしないでください。正確な温度検知ができなくなります。

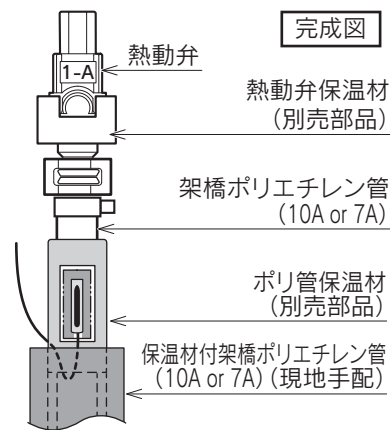
●付属のサーミスタを戻り配管のパイプ部に、付属のアルミテープで固定します。

戻り配管



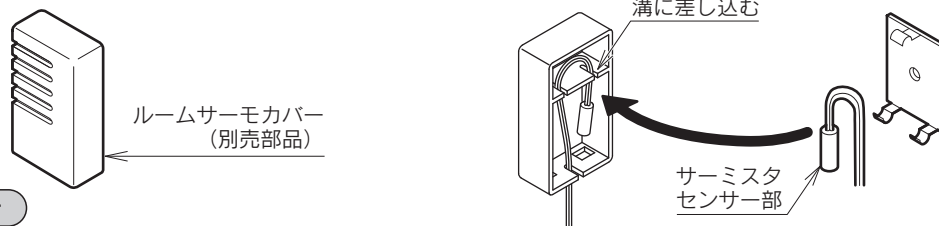
〔冷用水ヘッダーボックスとして使用する場合〕
 サーミスタを取り付け後、保温材を取り付けます。
 (別売の「冷用水保温材セット」に付属の工事説明書参照)

完成図



「室温検知」のとき

- サーミスタリード線を2心接続コード(現地手配)でヘッダーボックス制御基板上のサーミスタ端子台まで延長して接続します。
- 別売のルームサーモカバーの溝にサーミスタのセンサー部を差し込みます。
- 付属のサーミスタは室内の直射日光のあたらない場所に取り付けてください。



「床温検知」のとき

- サーミスタリード線を2心接続コード(現地手配)でヘッダーボックス制御基板上のサーミスタ端子台まで延長して接続します。
- 付属のサーミスタを図の位置に取り付けます。

〔取付例〕

根太間パネル	フロアパネル ホットフロアパネル ホットフロアライトパネル	ハードパネル
戻りパイプ出口にアルミテープで固定します。		戻りパイプ出口のとなりの角穴に差し込みます。

施工方法（熱源機、放熱器と接続して設置します）

3 熱動弁コネクタとサーミスタリード線の接続

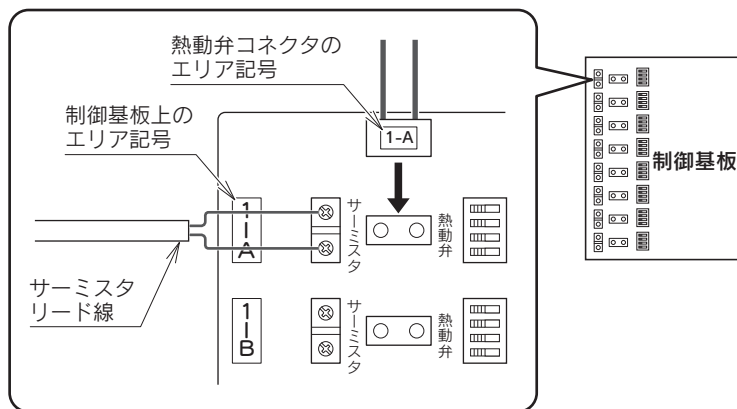


注意

●熱動弁とサーミスタの組み合わせを間違えないように接続してください。

●ヘッダーボックス制御基板上的エリア記号と熱動弁コネクタのエリア記号を合わせて接続してください。

●熱動弁と同じエリア(回路)のサーミスタリード線を端子台に接続してください。



4 ヘッダーボックス制御基板の設定

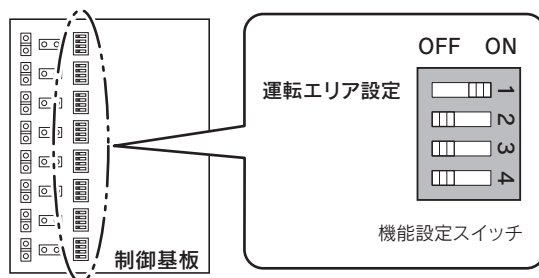
●接続するエリア(回路)ごとに設定します。



運転エリア設定スイッチ

●接続するエリア(回路)の設定をヘッダーボックス制御基板上的機能設定スイッチで行います。

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。
2. 接続するエリア(回路)の運転エリア設定を「ON」にします。
3. 接続しないエリア(回路)の運転エリア設定は「OFF」にしてください。

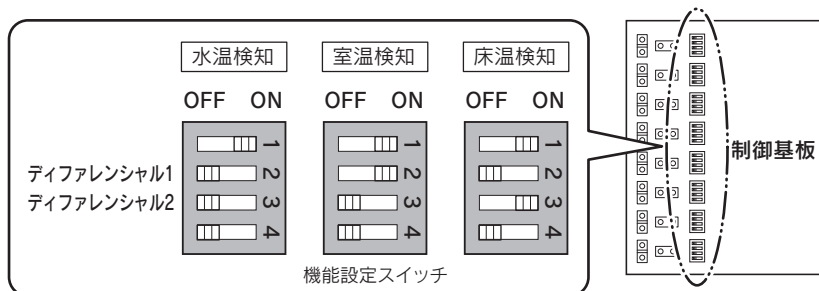


ディファレンシャル1(2)スイッチ

●サーミスタの検知方法によるディファレンシャル1・2の設定を、ヘッダーボックス制御基板上的機能設定スイッチで行います。(表1参照) お買い求め時は「水温検知」になっています。

〔表1〕

設定	検知方法	水温	室温	床温
ディファレンシャル1		OFF	ON	OFF
ディファレンシャル2		OFF	OFF	ON



施工方法（熱源機、放熱器と接続して設置します）

■熱源機通信接続（ヘッダーボックスと熱源機を通信で接続するとき）

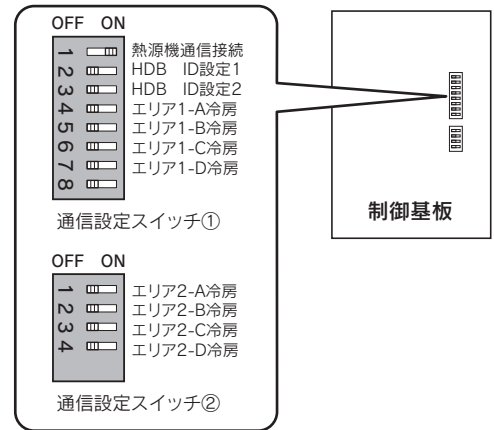
⚠注意

- 冷房運転をする場合は必ずこの通信接続で行ってください。
- 設定を行うときは、電源プラグを抜いてください。

- 熱源機通信に対応した熱源機（RAY・AEYH・AEYC・EDB（F）・DB（F）シリーズ）と接続するときは、ヘッダーボックス制御基板の通信設定スイッチの設定が必要です。

熱源機通信接続スイッチ 通信設定スイッチ①

- 熱源機通信接続をするときに「ON」にします。



HDB ID設定1(2)スイッチ 通信設定スイッチ①

- 熱源機通信接続対応の機器に、ヘッダーボックスを複数台接続するときに設定します。（熱源機通信接続「ON」時）（表2参照）

※この機器（HDB-804）は常にヘッダーボックス1台目の設定としてください。
2台目に接続するヘッダーボックスはHDB-404を使用し、2台目の設定をしてください。

〔表2〕

設定	内容	ヘッダーボックス 1台目	ヘッダーボックス 2台目（※）
HDB ID設定1		OFF	OFF
HDB ID設定2		OFF	ON

エリア1-A（B・C・D）冷房スイッチ 通信設定スイッチ① エリア2-A（B・C・D）冷房スイッチ 通信設定スイッチ② （AEYC、RAY（冷水対応）のみ）

- 対象エリア（回路）の冷房運転を許可するときに「ON」にします。（表3参照）

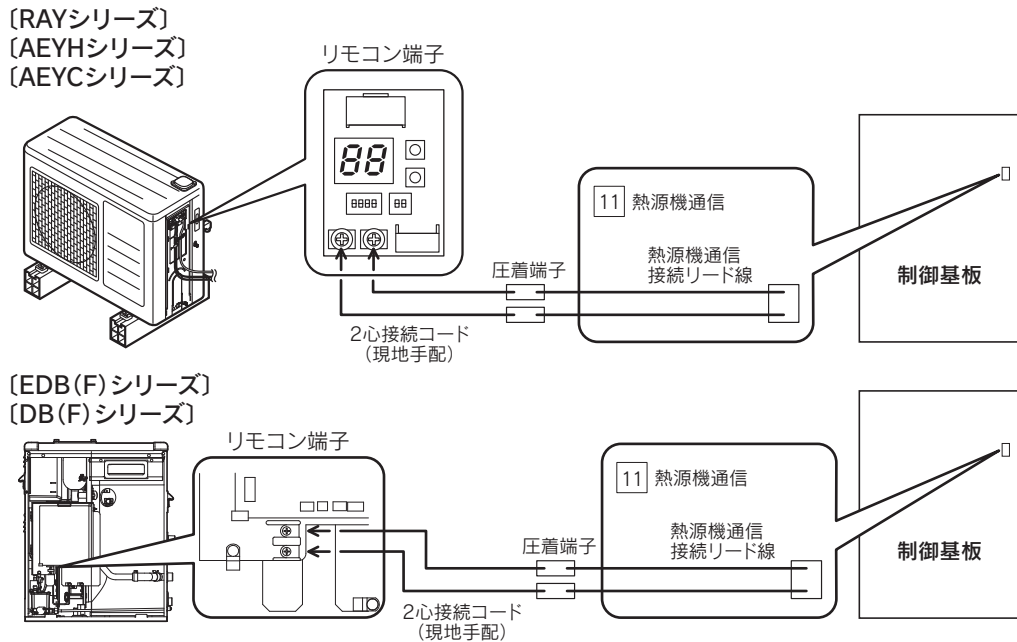
〔表3〕

エリア1-A冷房	ON：許可	OFF：禁止
エリア1-B冷房	ON：許可	OFF：禁止
エリア1-C冷房	ON：許可	OFF：禁止
エリア1-D冷房	ON：許可	OFF：禁止
エリア2-A冷房	ON：許可	OFF：禁止
エリア2-B冷房	ON：許可	OFF：禁止
エリア2-C冷房	ON：許可	OFF：禁止
エリア2-D冷房	ON：許可	OFF：禁止

施工方法 (熱源機、放熱器と接続して設置します)

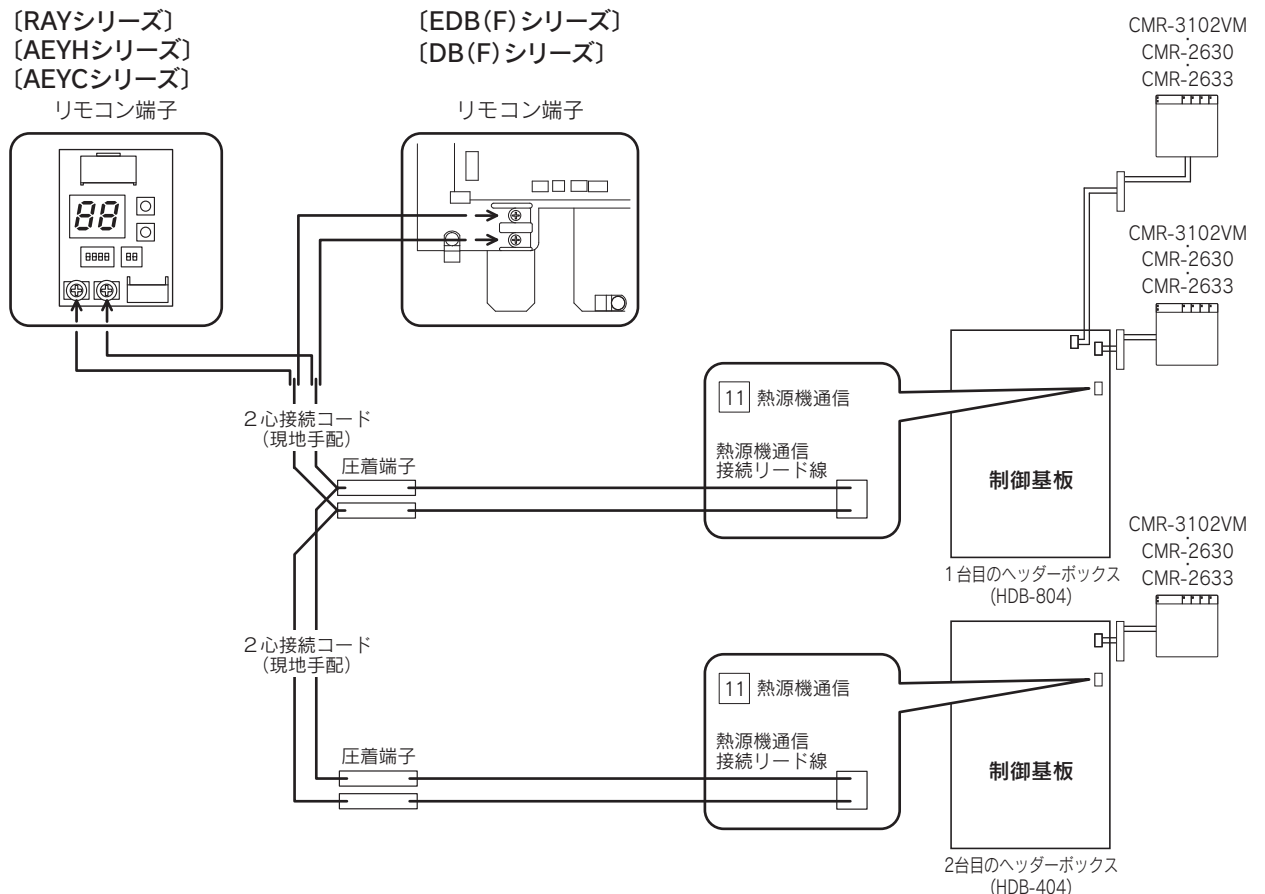
5 ヘッダーボックスと熱源機の接続

- 熱源機側のリモコン端子とヘッダーボックス制御基板上の 11 熱源機通信のコネクタを、「熱源機通信接続リード線」と2心接続コード(現地手配)で、図のように接続します。



ヘッダーボックスを増設するとき

- ヘッダーボックスを2台接続するときは、「熱源機通信接続リード線」と2心接続コード(現地手配)で、図のように接続します。
- 2台目のヘッダーボックスに接続したメインリモコン(CMR-3102VM・CMR-2630・CMR-2633)では、現在時刻や補助ヒータを設定することはできません。



※ 2台目に接続するヘッダーボックスはHDB-404を使用してください。

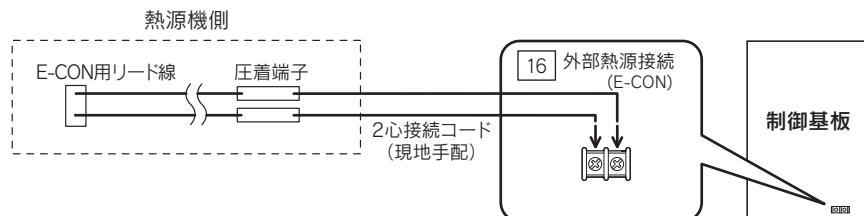
施工方法 (熱源機、放熱器と接続して設置します)

6 E-CON 接続 (ヘッダーボックスと熱源機を E-CON で接続するとき)

⚠ 注意

●冷房運転はできません。

●「E-CON用リード線」をヘッダーボックス制御基板上の [16] 外部熱源接続端子 (E-CON) に接続します。



リモコンの接続

メインリモコン (CMR-3102VM・CMR-2630・CMR-2633) のみ接続するとき

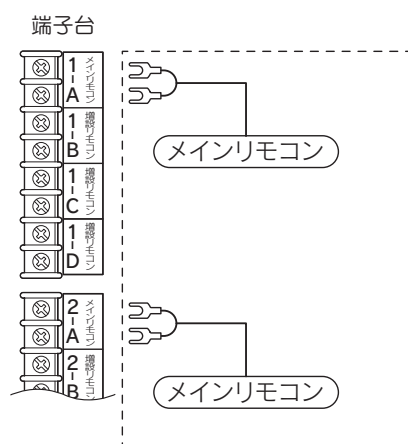
※メインリモコン1台で4回路まで制御することができます。

5・6回路を制御する場合は、メインリモコンが2台必要です。

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。
2. メインリモコンを基板ケースの「1-A メインリモコン」端子台に接続します。
3. リモコンコードは配線取出口を通し、コードクリップを使用して固定します。 **2ページ**
4. 機器と熱源機の電源プラグをコンセントに差し込みます。
5. メインリモコンの運転スイッチを押して「入」にします。
6. メインリモコンのエリア運転スイッチを押して、接続するエリア(回路)のエリア運転ランプが点灯することを確認します。

・2台目のメインリモコンを接続する場合は、「2-A メインリモコン」端子台に接続してください。

・「2-A メインリモコン」端子台に接続したメインリモコンでは、現在時刻や補助ヒータを設定することはできません。



※リモコンコードは無極性です。



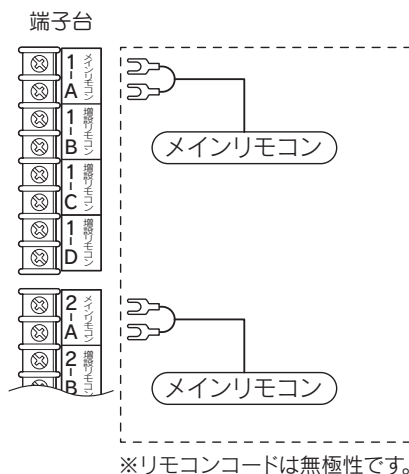
リモコンの接続

メインリモコン(CMR-3102VM・CMR-2630・CMR-2633)と増設リモコン(CMR-2630S)を接続するとき

- 増設リモコンはメインリモコンを接続しないと使用できません。
 - 増設リモコンはエリアA以外のエリア(B・C・D)に接続することができます。
 - 増設リモコンは接続したエリア(回路)のみコントロールすることができます。
 - 同じエリア(回路)に増設リモコンを複数台接続することはできません。
1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。
 2. メインリモコンを基板ケースの「1-Aメインリモコン」端子台に接続します。
 3. 増設リモコン裏面のエリア設定スイッチを切り換えて、増設リモコンのエリア設定を行います。(表4参照)
※メインリモコン(CMR-3102VM)の裏面にある設定スイッチは熱源機に付属の工事説明書を参照してください。
 4. エリア設定をした増設リモコンをそのエリア(回路)に対応した「1-B(C・D)、2-B(C・D)増設リモコン」の端子台に接続します。
 5. リモコンコードは配線取出口を通し、コードクリップを使用して固定します。 **2ページ**
 6. 機器と熱源機の電源プラグをコンセントに差し込みます。
 7. 増設リモコンの運転スイッチを押して「入」にします。
 8. メインリモコンの点灯したエリア運転ランプと、「入」にした増設リモコンとエリア(回路)の設定が一致していることを確認します。

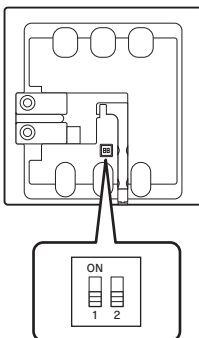


- ・2台目のメインリモコンを接続する場合は、「2-Aメインリモコン」端子台に接続してください。
- ・「2-Aメインリモコン」端子台に接続したメインリモコンでは、現在時刻や補助ヒータを設定することはできません。



※リモコンコードは無極性です。

増設リモコンの裏面



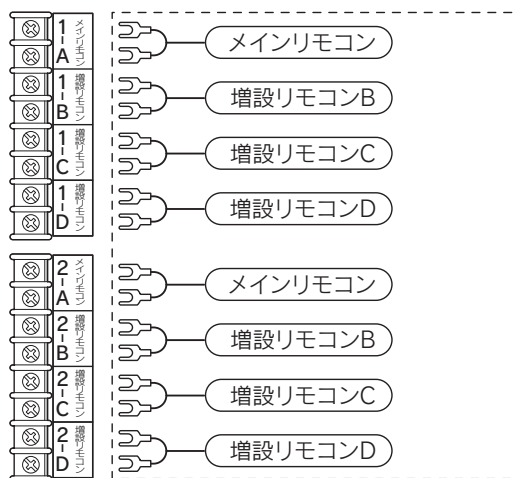
エリア設定スイッチ

〔表4〕

エリア	エリア設定スイッチ1	エリア設定スイッチ2
B	ON	OFF
C	OFF	ON
D	ON	ON



端子台



※リモコンコードは無極性です。

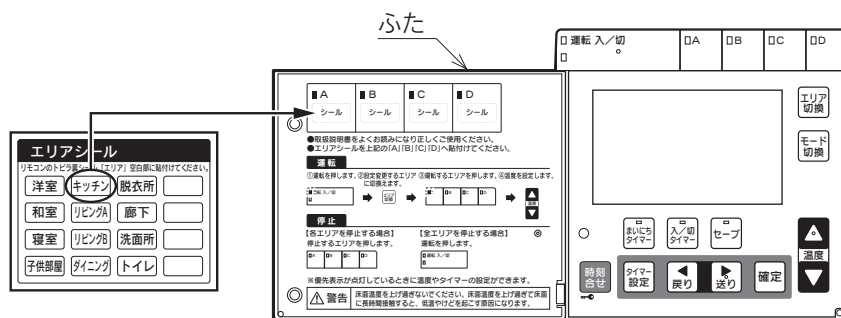
リモコンの接続

メインリモコン表示部に点滅表示が出たとき

- メインリモコン表示部に「A B C D」「740」「750」「760」が点滅しているときは、下記の内容を確認します。
 - ・接続するエリアの運転エリア設定スイッチが「ON」になっていることを確認します。(5ページ)
 - ・増設リモコンの裏面のエリア設定スイッチがB、C、Dいずれかのエリアに正しく設定されていることを確認します。(9ページ 表4参照)
- メインリモコン表示部に「E8」「F8」が点滅しているときは、下記の内容を確認します。
 - ・ヘッダーボックス制御基板上のID設定スイッチが正しく設定されていることを確認してください。(6ページ 表2参照)
 - ・「熱源機通信接続リード線」が正しく接続されていることを確認してください。(7ページ)

エリアシールの貼付け(CMR-2630・CMR-2633のみ)

- エリアシール(リモコンセット付属品)をメインリモコンのふたの裏面に貼り付けます。ABCDそれぞれのエリア(回路)に対応したシールを貼り付けてください。



※CMR-3102VMは、リモコン操作でエリア名称を設定できます。(リモコンに付属の取扱説明書参照)

電気配線

警告

- 電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。また、余った電源コードやアース線は機器内に入れないでください。火災の原因になります。

使用電源

- 電源は必ずAC100Vを使用してください。絶対にAC200Vに接続しないでください。機器が破損します。

電圧降下

- 電圧が降下すると故障・誤作動の原因になります。

電源周波数

- この機器は50Hz・60Hz共用です。

接地(アース)



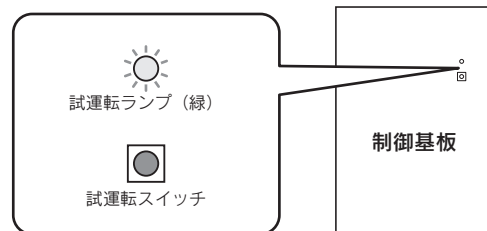
- アース工事を確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。
- 機器側面にアース端子があります。電気設備に関する技術基準および内線規程に基づき、D種接地工事を行ってください。(接地抵抗100Ω以下)
- アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

給水と配管のエア抜き

⚠注意

●試運転終了後、必ず試運転ランプ(緑)が消灯していることを確認してください。

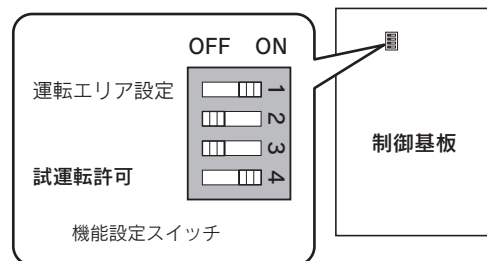
1. 機器と熱源機の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
2. 循環水(不凍液)を給水する前に、ヘッダーボックス制御基板上の試運転スイッチを押して、試運転ランプ(緑)を点灯させます。



3. ヘッダーボックス制御基板上の機能設定スイッチの試運転許可スイッチを「ON」[1エリア(回路)]にしてください。そのエリア(回路)の熱動弁が開きます。

熱動弁が開くまで約2分間、閉じるまで約5分間かかります。

(運転エリア設定が「OFF」のときは、試運転許可スイッチを「ON」にしても熱動弁は開きません。)



4. 熱源機に循環水(不凍液)を給水して、循環ポンプを運転させながらエア抜きを行います。(熱源機に付属の工事説明書参照)
 5. エア抜きが終了したら、試運転許可スイッチを「OFF」にします。
 6. 1エリア(回路)ずつ同じ手順3~5でエア抜きを行います。
 7. 全エリア(回路)のエア抜きが終了したら試運転スイッチを押して試運転ランプ(緑)を消灯させます。
- ※試運転スイッチを押してから約100分経過すると、自動的に試運転ランプ(緑)が消灯してエア抜きは終了します。

据付工事後の点検・確認

●据付工事が終わりましたら、もう一度確認してください。

機器およびその周辺

●点検・修理など保守・管理上必要なスペースはありますか。

電気配線工事

- 機器・熱源機・リモコンへの配線は、指定された工事で行われていますか。
- D種接地工事は行われていますか。



引き渡し

お客様への説明

- 取扱説明書に従い取扱方法をお客様に説明してください。
- 保証書に必ず必要事項をご記入の上、お客様にお渡しください。(保証書は取扱説明書の巻末です。)
また、取扱説明書に従い「アフターサービス」について説明してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



●本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎(083)248-1111
FAX(083)248-1906